

PATENT ABSTRACTS OF JAPA

(11)Publication number:

61-115297

(43)Date of publication of application: 02.06.1986

(51)Int.CI.

G11C 17/00 GO6F 12/14

(21)Application number: 59-236844

(71)Applicant: NIPPON TELEGR & TELEPH CORP

<NTT>

(22)Date of filing:

12.11.1984

(72)Inventor: KAWASAKI RYOJI

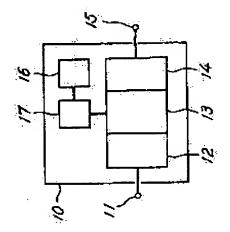
MONMA KOJI

(54) MEMORY CIRCUIT

(57)Abstract:

PURPOSE: To stop the function of electronic device at a proper time in case when the reliability of the result is not maintained because of error action, etc., by providing a circuit to write the data specified in advance by read only memory part and drive signal at the memory part, or to delete the data already written.

CONSTITUTION: When an address specification signal is supplied to an input terminal 11, a decoder 14 decodes it and reads the contents of a memory element 13, and outputs from output terminal 15 through an output buffer 14. Here, a timer part 16 count the clock pulse. and after an elapse of a specified time, it drives data writing part 17 and writes '0' on a memory element 13. By this process, a part or the whole of memory contents is deleted. In this way, after the elapse of a specified time, this memory circuit loses its original function. Therefore, by setting the time of the timer part 16 at any necessary value, the life time of this memory can be determined optionally.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭61 - 115297

@Int.Cl.4

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和61年(1986)6月2日

G 11 C 17/00 G 06 F 12/14

101

B-7737-5B

審査請求 発明の数 2 (全4頁)

の発明の名称

記憶回路

②特 頤 昭59-236844

29出 昭59(1984)11月12日

四発 明 者 Ш

治 良

横須賀市武1丁目2356番地 日本電信電話公社横須賀電気

通信研究所内

馬

横須賀市武1丁目2356番地 日本電信電話公社横須賀電気

通信研究所内

の出 願人 日本電信電話株式会社

79代 理 人 弁理士 本 間 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

1: 発明の名称 配位回路

2. 特許請求の范囲

- (1) 適常読み出し専用に用いる記憶部と、風動 信号を与えられたとり放配位部に予め定めら れた特定データを呑を込むかあるいはすでに 書き込まれているデータを構去する国路とも 有することを特徴とする記憶回路。こ
- (2) 駆動信号は内蔵するタイマの出力より得る ごとく構成した特許請求の範囲的(1)項記載 の記憶回路。
- (3) 風動信号は内蔵する無線受信機の出力より 得るごとく構成した特許額求の範囲数(1.)項 記載の記位回路。
- (4) 遺常鉄み出し専用に用いる記憶部と、与え られた制御信号により放配体部に記憶されて いるデータの読み出しあるいはその出力を行 なうか行なわないかを制御する回路を有する ことを特徴とする記憶回路。

- (5) 勧御信号は内蔵するタイマの出力より得る ことく構成した特許請求の範囲第(4)項記載
- (6) 制御信号は内閣する無赦受信機の出力より 得るごとく構成した特許牌求の観閲第(4)項 紀載の記位団路。・
- (7) 制御信号により、配位部周辺回路への電波 供給を創御することく構成した特許額求の電 趙弟(4)琪ないL弟(6)琪のいずれかに配載 の記憶回路。
- 3. 発明の詳細な説明
 - (産業上の利用分野)

本発明は、外部から与えた信号等により記憶 内容の肌み出しを不可能にしたり、あるいは可 紀にしたりすることのできる読み出し専用の記 性部からなる記憶回路に関するものである。

(健康の技術)

第1回は、従来の読み出し専用の配体回路の 例を示す図である。

第1回において、入力増予1からアドレス投

特開昭61-115297(2)

定信号を加えると、デコーデ2でこれを解決して、記憶業子3の該当するアドレスの内容を読み取り、出力パッファ 4 を介して出力婦子 5 に出力する。

[希明が解決しようとする問題点]

上述したような記憶回路を有する電子要認において、数電子整度の所定の使用期間(例えば 鉄匠の使用器定期間)が過ぎたり、または、それ以上動作を雑載すると、誘動作などにより結 果の信頼性が保てないような場合などに、誠電子装置の配性回路の機能をその時点で停止させ たいという要求を生することがある。

使来このようなとき、故電子装置の記憶回路 の動作を停止せしめることの可能な前便な手段 がなかつた。

また、動作を停止している電子装置を再び機能させようとするとき、これを実現し得る関便 な手段がないという問題点があった。

本会明は、前記問題点を解決するために、一定時間が経過するか、もしくは外部から制御信号が加えられたときに読み出し専用の記憶部の、内容を摂出するか、または残み出し不能としたり、あるいは再び飲み出しを可能とすることのできる記憶団路を提供することを目的としてい

以下、本発明の構成等に関し実施列の関面に 基づいて説明する。

(実施保)

第3回は、本発明の第1の実施例のプロック

図であって、10は減み出し専用の配値国路、11は入力増子、12はデコーダ、13は記憶業子、14は出力パッファ、15は出力増子、16は内温するクロック観点には外部クロック級からのクロックパルスを計数するカウングから成るダイマー部、17はデータ書き込み形である。

第3図の動作を説明すると、入力増子11からアヤレス指定信号を加まると、デコーダ12でこれを解決して、配体素子13の内容を読み取り、これを出力バッファ14を介して部16はクロックバルスを計数し、一定時間が経過したまで、テ13に"0"を考さ込むことにより配性内、一定時間が経過したまでは、この配性回路は本来の機能を有しないこととなる。

従って、タイマー部16の時間を必要な値に 設定することによりこの配位回路の寿命を任意 に設定することができる。

また、一度開会した記憶内容を再び復復させたいとき、あるいは他の情報に書き替えるなどの必要があるときは、データ客を込み部に所定の時間が経過したときのタイマー部の出力を受けて、予め定められているデータを記憶部に警 も込む機器を付加することにより実現することができる。

第4図は本発明の第2の実施例のブロック図であって、20は建み出し専用の記憶回路、2 1は入力幾子、22はデコーデ、23は記憶素子、24は出力ペッファ、25は出力増子、2 6は読み出し用ゲート、27は読み出し用ゲートを創画するための創御場子である。

第4回の動作を説明すると、入力増子21か カアドレス物定信号を加えると、デコーダ22 でこれを解決して、配位書子23の内容を扱み 取り、出力パッファ24を介して配位内容を出 力精子25に出力する。ここで、初報増子27 に制御信号がない同は読み出し用ゲート26は

特開昭61-115297(3)

思いているが制御幾子27に制御信号が加わる と、以降読み出し用ゲートでもが閉じて記憶内 容を外部から読み出すことが不可能となる。こ れにより、この記憶回路は本未の機能を存しな いこととなる。使って餌御婚子27に餌御信号 を加える時間の設定によりこの配位回路の券合 を任意に劉智することができる。

また、再び記憶内容を外部から読み出す必要 を生じたときには餌御婦子28に飼御借号を加 えることにより、アート28を聞くことができ るので、これにより再び配位内容を外部から能 み出すことが可能になる。

なお、鉄み出し用ゲート26とそれを制御す るための朝御娘子27、28は入力側に設けて

第5回は本発明の第3の災難例であって、決 み出し専用の記憶回路30が無線装置40に組 み込まれている。41はアンサナ、42は交信 部である。また、31は入力増子、32はデコ ーダ、33は記憶条子、34は出力パッファ、

35は出力増子、43は読み出し用ゲート回路、 3.7 は回路4.3 を初賀するための新部暦子であ

第5回の動作を説明すると、入力椅子31か りアドレス指定信号を加えると、デコーダ 3 ℃ でこれを解説して、記集菓子33の内容を読み 取り、出力パッファ34を介して記憶内容を出 力増子35に出力する。ここで、飼育増子37 に制度信号がない間は正常に出力増子35から 記位内容を読み出すことができるが、無線装置 の外部から電波で送られてきた観舞信号が受信 部42により校出されて側部増予37に加えら れると読み出し用ゲート回路43が同じて記憶 内容を外部から読み出すことを不可能にするた め、以降この配位回路は本来の機能を有しない こととなる.

従って飼育信号を電流に乗せてアンテナ4~ に向けて発射する時間の改定によりこの配性回 路の発命を任意に改定することができる。

本実施併は無級裝置の内部に記憶回路を有す

るものについて説明しているが、特許請求の範 を示す因、第2回は無難区間等を介して後続き 四族(3)項および第(6)項に配載した実施無機 のごとく、配性回路に小形の無線受信機を内障 せしめる構成を挟ることもできる。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明の記憶回路は内 黒するタイマや外部からの信号等により、その 記憶された情報の読み出しを不可能にしたり、 再び読み出し得るようにしたりすることが容易 に行なえる。

従って、これを組み込んだ電子表置等におい ては、所足の使用期間(例えば装置の使用器 定期間) が過ぎたり、または、それ以上動作 を概載すると、鉄動作などにより前果の借紙性。 が保てない場合などに、政策子楽度の機能を減 切な時期に停止せしめたり、また、条件が盛っ たときに再びこれを機能させることなどを可能。 にすることができるという程点を存する。こ

4. 図面の簡単な以明

第1因は使来の読み出し専用の記憶国路の例 代理人 弁瑞士

れた装置で構成される方式を説明する図、第3 図は本勇明の第1の実施例のブロック図、第4 図は本発明の数2の実施例のブロック図、数5 図は本発明の旅るの実施例のブロック図である。

1、11、21、31 …… 入力堆子、 2. 12. 21. 22. 32 7 = - 7. 3、13、23、33 …… 記憶素子、 4、 14、24、34 --- 出力パッファ、 7 …… 無限区間等を介して接続された装置、 .5、15、25、35 …… 出力塌子、 16 …… タイマー都、17 …… データ書き込み 郎、 26、43 …… 放み出し用ナート、 27、28、37 …… 読み出し用ナートを調 **奪するための制御婦子、 10、20、30 …** --- 読み出し専用の記憶回路、40 ……無級芸 屋、41 …… アンテナ、42 …… 受信部

